

# 大阪市をなくすのではなく



## 大阪市の力で より良い大阪に

大阪市を廃止し、4つの特別区にするためのコストは、1300億円(15年分)もかかります。  
 そのうえ大阪市の財源収入の65%は、府に「むしり取られ」(橋下元市長)、府からの交付金頼みになります。  
 そのため、特別区は財源がなく、住民サービスを切り捨てざるを得なくなります。  
 「都構想」をやめ、大阪市を残せば、膨大なコストは負担しなくて済みます。  
 さらに、大阪市の大きな財源を使えば、くらしと経営への支援をもっと強めることができます。  
 「都構想」は否決し、大阪市を残し、より良い大阪市をごいっしょにつくっていきましょう。

### 特別区にされると

1,300億円の**コスト**(15年分)

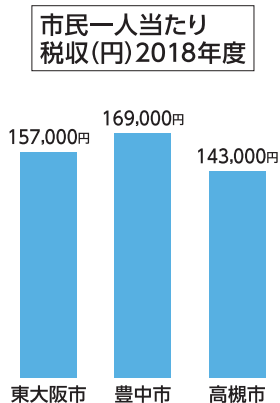
+

200億円の**経費増**(毎年の不足分)



**市民サービスは維持できず  
切り捨てられます。**

- 18歳までの子ども医療費助成
- メトロ・バスの敬老優待乗車証(敬老パス)
- 新婚・子育て世帯向け住宅ローンの利子補助
- 塾代助成
- 学校給食の無償化 など



### 大阪市のままだと

大阪市・廃止分割のための費用はなし。



子ども医療費助成や敬老パスなど、  
特色ある**市民サービス**は維持できます。



大阪市の大きな財源で

**新たに市民サービスができます。**

- 子どもの医療費助成の窓口負担ゼロ
- ひとり親家庭の医療費助成窓口負担ゼロ
- 重度障がい者医療費助成窓口負担ゼロ
- 30人学級
- 市立大学の授業料の半額
- 介護保険料の17%引き下げ
- 保育士(勤続7年以上)の給与月4万円引き上げ など

